

◆五サー市・吉水園開園

11月12・13日の両日、加計の商店街で恒例の五サー市が開催されました。

紅葉が美しい吉水園も開園し、加計商店街に秋の味覚を売り物にした店舗も多く出店、安芸太田町の特産品、祇園坊や香茸おにぎり等に皆さん舌鼓。

そして、天候にも恵まれたことから町外からの観



光客が予想以上に訪れ、往年の加計の町の賑わいが再現されました。

着地型旅行として毎年リピーターの多い五サー市ツアーもバスが満席になり、参加者の皆さんは安芸太田町の祇園坊や野菜の収穫体験での両手に持ちきれないほどの収穫物に大喜びでした。

今年は、セリエの安芸太田町味覚弁当が配られ、手作りの味が近年にないほど大好評でした。

◆つつがふるさとまつりが開催されました

大歳神社の大銀杏がみごとに色づいた秋晴れの11月13日、筒賀地区で多くの人々が参加して神楽競演や野菜の競り市、品評会が行われました。昨年は中止になったまつりですが、今年は見事な野菜を育てた方には金賞や特別賞が贈られ、来年も良い野菜を作ろうという励みになりました。

筒賀中学校の生徒10名は、ボランティアとしてまつりに参加して、普段授業では体験できない学習をしました。



リポーン

◆三段峡Re-Born事業 奥入瀬渓谷のプロガイドによるガイド研修を実施しました

青森県の奥入瀬渓谷で先進的な活躍をしているNPO法人奥入瀬自然観光資源研究会から河井氏を招待し、三段峡を舞台にしたツアーガイド研修を行いました。国とコラボして進めている地域の魅力創造事業として行ったもので、来年度の三段峡100年記念事業につながるものとして大切な事業です。

参加した方は、河井氏の熱のこもった話に耳を傾けながら三段峡の中にある魅力をあらためて再確認いたしました。そして、三段峡を訪れる多くの人に魅力を伝えることができるガイドとして立ち立できることを願って3日間の研修を終えました。

